

大山口小学校区

小学校区単位のまちづくりモデル小学校区

第1回

みんなで まちづくりトーク

10月26日(土)西白井複合センター



本日の流れ



導入 小学校区単位のまちづくりとは

- 1 報告 まちづくりアンケートの集計結果
- 2 ワークショップ
大山口小学校区の魅力と地域課題
- 3 今後の予定

**大山口小学校区
が取り組む**

「小学校区単位のまちづくり」とは？





深刻化する地域課題に対応できるか？



**住みやすい地域をどう
つくっていけばいいか？**

こうした状況に対応し、

みんなが住みよいまちをつくるために・・・

**地域で助け合い・支え合う
「新たな協働のまちづくり」の仕組み**

私たちの
まちをみんな
でつくろう！

**小学校区
単位の
まちづくり**

未来を見据え、
今のうちから
取り組もう！

これからは
地域の力が
とても大切！

個人 ⇒ 小学校区 ⇒ 市 ⇒ 県 ⇒ 国

生活に身近で互いの顔が見える区域

自助

個人で解決
できることは
個人で解決
する

共助



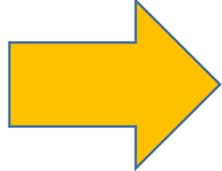
個人で解決
できないことは地
域で解決する

公助

地域で解決
できないこと
は行政が解
決する

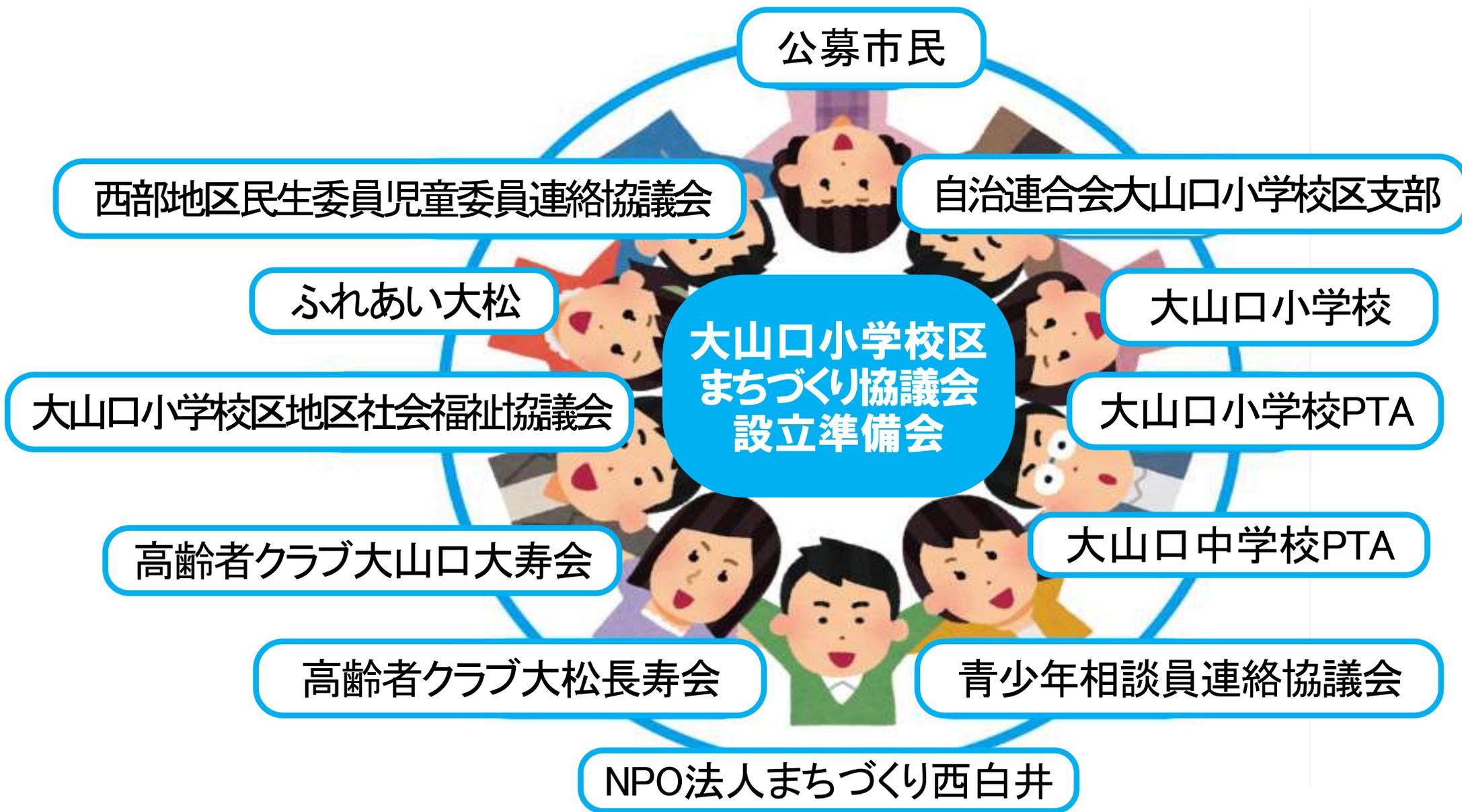
小学校区単位のまちづくり

小学校区単位のまちづくりに取り
組んでいく母体となる組織



まちづくり協議会

大山口小学校区「設立準備会」の構成



設立準備会からまちづくり協議会設立までのステップのイメージ



1. 設立準備会の立ち上げ活動

説明会の開催、準備会委員の決定、準備会の活動・組織・運営



2. 設立準備会の活動

- (1) 準備会の設立総会の開催
- (2) まちづくり協議会のイメージの理解
- (3) 地域の現状把握
- (4) 地域のニーズと課題の把握
- (5) 目指す地域の将来イメージ(将来像)の設定
- (6) 課題解決のための取り組み
- (7) まちづくり計画のとりまとめ
- (8) まちづくり協議会組織の検討

まちづくりアンケート調査の実施

現在



協議会の設立

青少年の育成

環境

福祉

活動の充実
新しい活動
(例)

防犯

防災

コミュニティー

健康づくり



1 報告

まちづくりアンケートの結果



大山口小学校区 まちづくりアンケート調査 ～調査へのご協力をお願い～

大山口小学校区の未来のまちづくりにかけてみなさまのご意見をお聞かせください!

白井市では、市民皆さまの生活に身近な小学校区で、市民が主体となり、協力・連携のもと、地域の課題解決や魅力づくりにより、住みよいまちをつくる「小学校区単位のまちづくり」を推進するため、大山口小学校区をモデル小学校区として、これから取り組んでいくことになりました。

本調査は、大山口小学校区での暮らしとこれからのまちづくりについて、小学校区にお住まいの皆さまからご意見、ご意向をお聞きし、これから市民が主体になって取り組む「小学校区単位のまちづくり」を検討する基礎資料として活用させていただくことを目的に実施するものです。

このたびは、大山口小学校区在住の18歳以上の方の中から800人の方を無作為に選び、アンケート調査へのご協力をお願いしております。

調査票は無記名であり、お答えいただいた内容は統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しい中、誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年8月

白井市長 笠井喜久雄

ご記入にあたってのお願い

1. おて名のご本人がご自分の考えでお答えください。
2. 選択する○の数や次の問への進み方にご注意ください。
3. お答えの中に「その他」を選んだときは、具体的な内容を記入してください。

この調査票にご記入いただきましたら、同封の返信用封筒で

9月9日(月)までにご投函ください。

(切手をお貼りいただく必要はありません)

本調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

白井市役所 市民環境経済部 市民活動支援課 市民活動支援係

電話：047-401-4078(直通) E-mail: shiminkatsudou@city.shirol.chiba.jp



アンケートの実施概要

名称	大山口小学校区まちづくりアンケート
目的	大山口小学校区の暮らし、地域活動、地域課題、これからのまちづくり等への意見、意向を把握し、これから市民が主体になって取り組む「小学校区単位のまちづくり」を検討する基礎資料として活用する。
対象	大山口小学校区在住の18歳以上の男女800人
調査期間	令和元年8月21日(水)～9月9日(月)の20日間
方法	郵送配布・郵送回収
回収率	38.0% (有効回答数304件)

大項目	質問
① 大山口小学校区での暮らし	1. 居住年数 2. 住みやすさ 3. 愛着 4. 定住希望 5. 魅力
② 日頃の関わりや地域活動	6. 地域との関わり 7. 地域の人々のつながり 8. 地域の人々のつながりの必要性 9. 助け合える人や信頼して相談できる人 10. 小学校区で活動している団体の理解 11. 小学校区で活動している既知の団体 12. 地域活動への関心 13. 地域活動の活発度
③ 地域課題	14. 地域課題 15. 特に重要な地域課題
④ これからの 住みよいまちづくり 第2回みんなでまちづくりトークにて報告	16. これからの地域でのつながり 17. これからの地域活動の大切さ 18. 地域活動を盛んにするために必要なこと 19. これからのまちづくりへの関わり 20. これから地域で取り組むべきこと 21. 特に重要な取り組むべきこと 22. これから協力・参加していきたい活動 23. まちづくりの将来像の言葉(キーワード)
⑤ 基本的属性	24. 性別、年齢、住所、同居している家族構成、仕事
	これからの小学校区単位のまちづくりのアイデア・意見

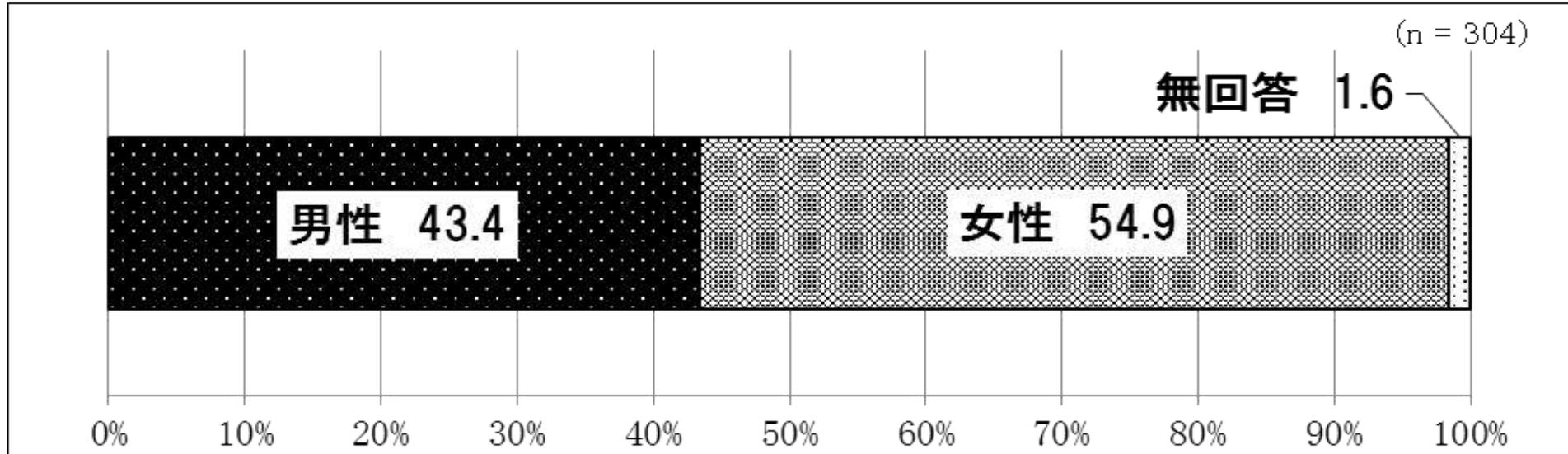
回答者の属性

上→

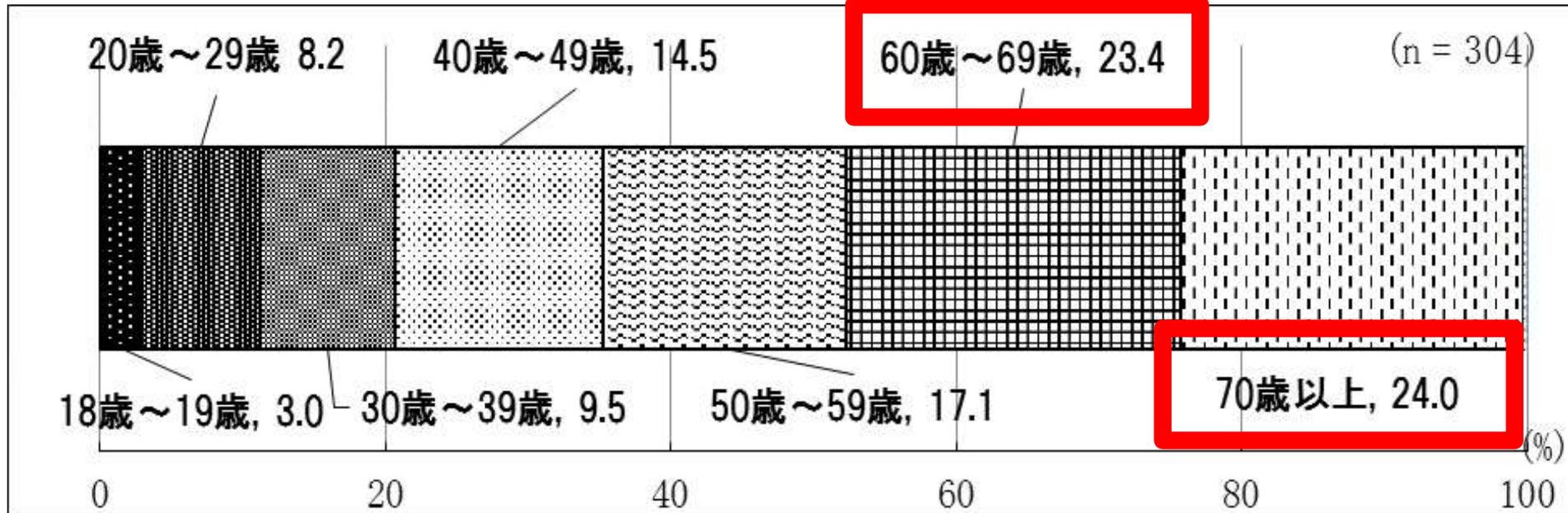
性別

下→

年代別

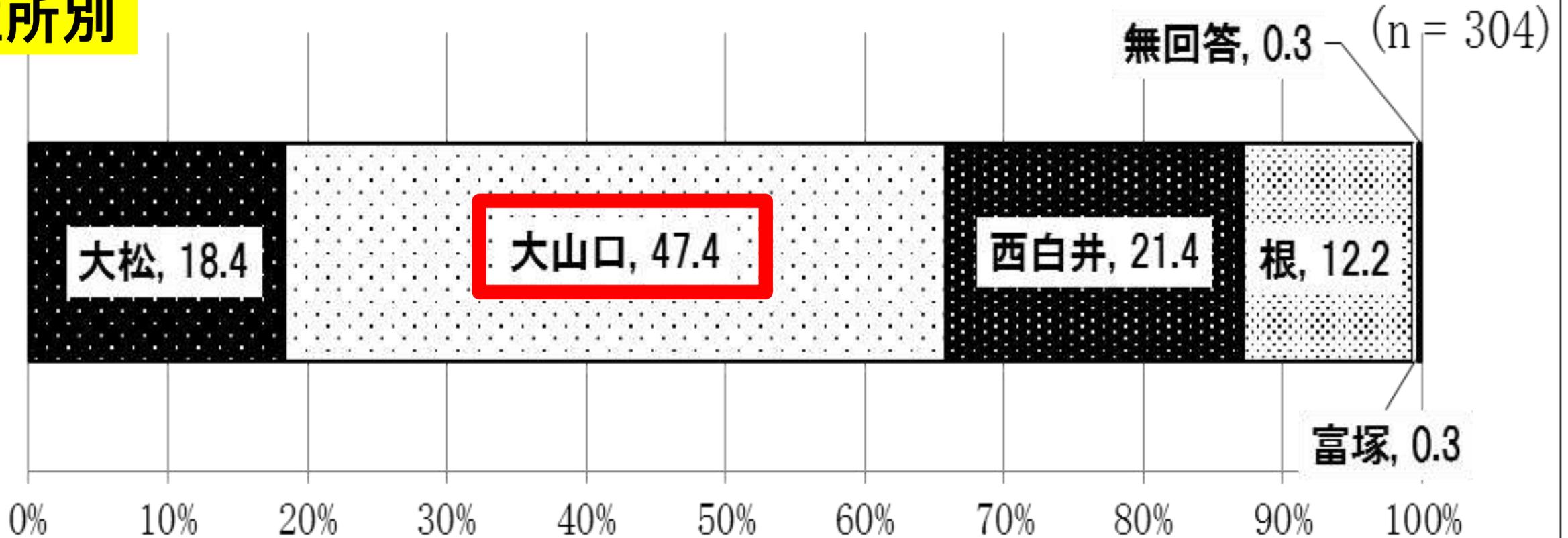


男性が4割、
女性が6割



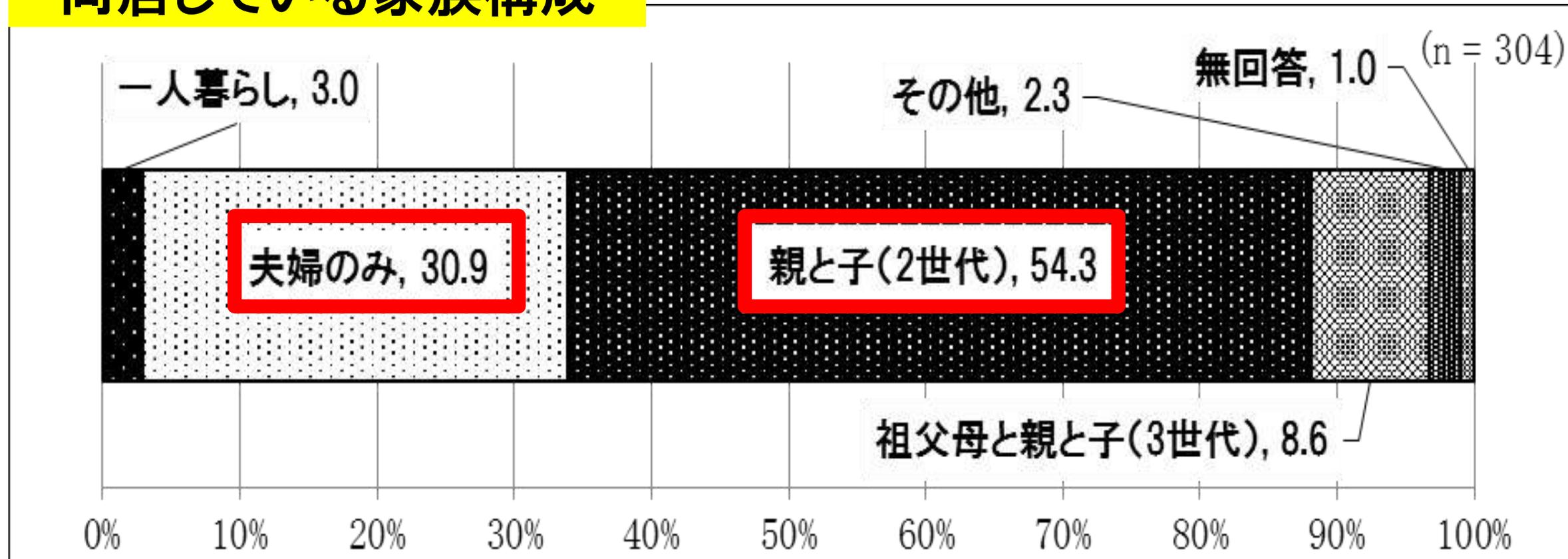
60歳代、70
歳以上、50
歳代が多い

住所別



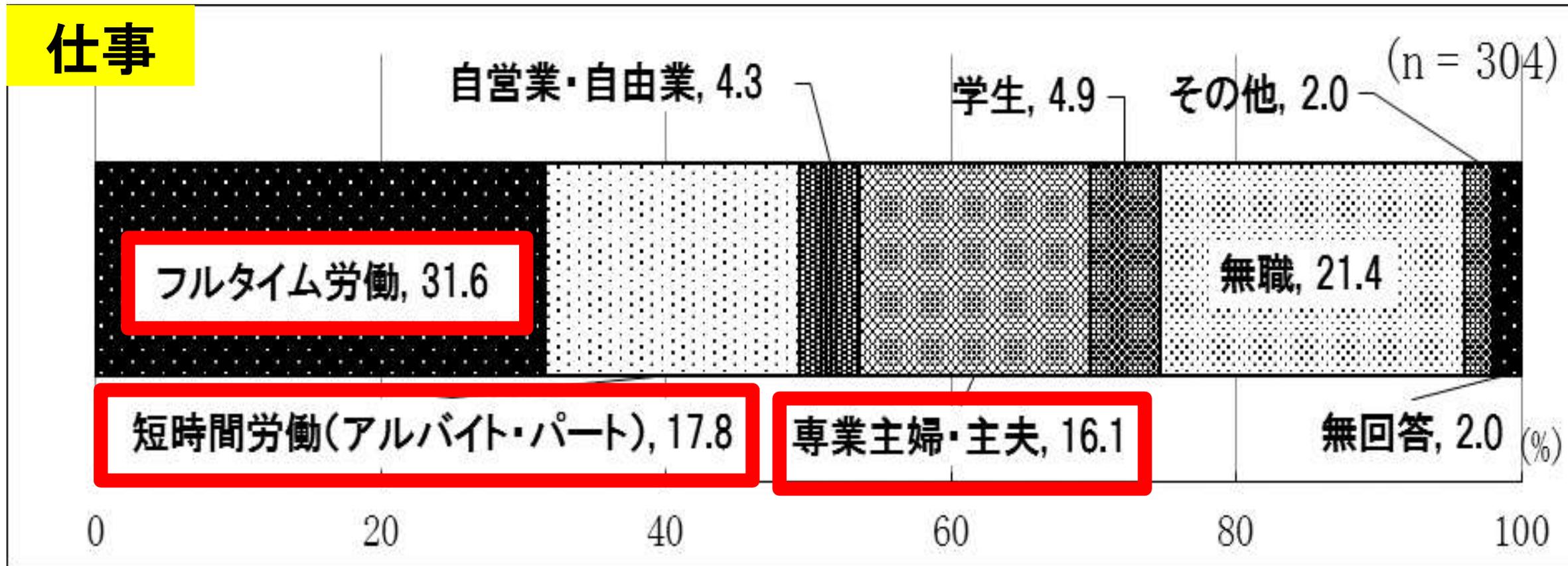
大山口が5割弱で最も多く、次いで西白井、大松、根、富塚の順となっている。

同居している家族構成



「親と子」が5割強、「夫婦のみ」が3割と多い。

仕事

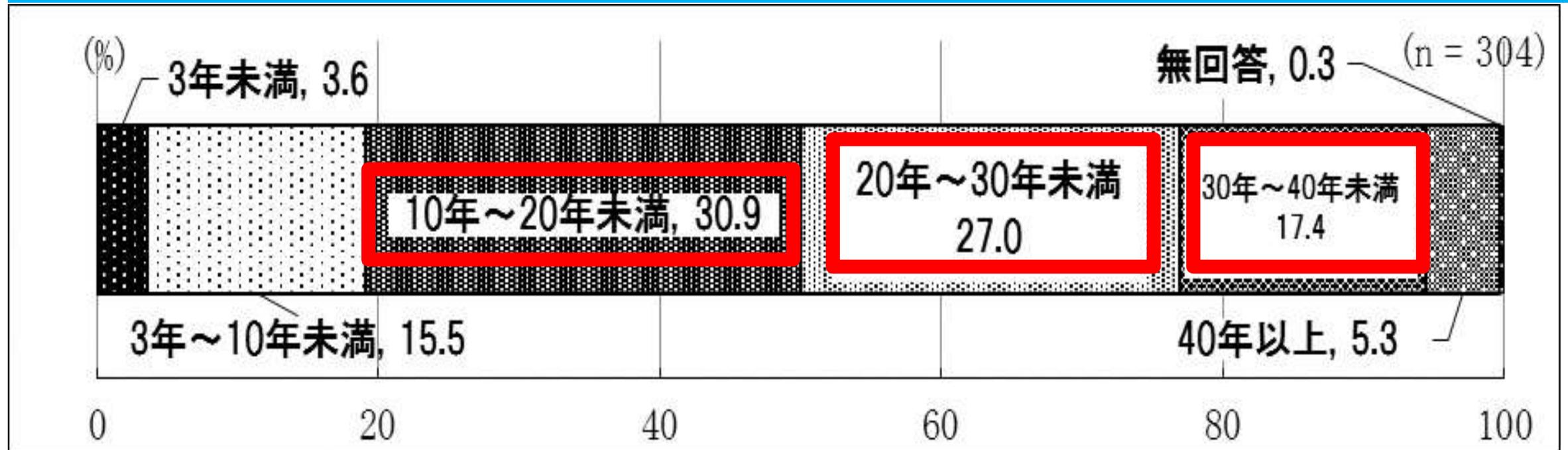


「フルタイム労働」(3割強)、「短時間労働」(2割弱)、「専業主婦・主夫」(2割弱)の順である。

大山口小学校区での暮らしについて

① 居住年数

【問1】大山口小学校区にお住いになって何年ぐらいになりますか。(〇印は1つ)

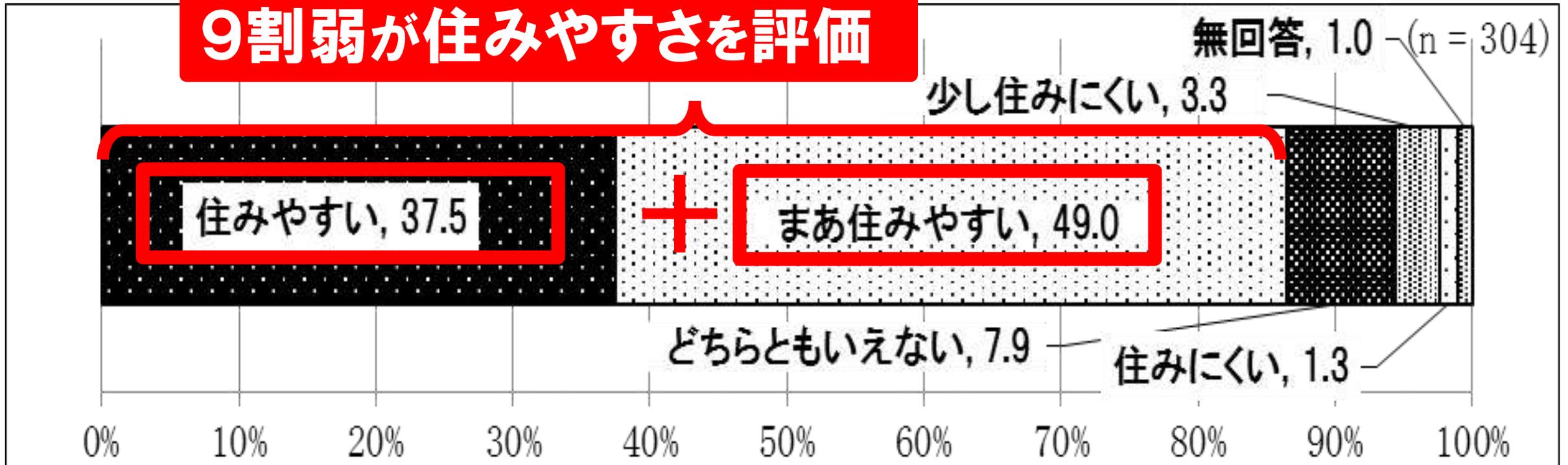


「10～20年未満」(30%)、「20～30年未満」(27%)、
「30～40年未満」(17%)の順である。

① 住みやすさ

【問2】大山口小学校区の住みやすさについてどう思いますか。(○印は1つ)

9割弱が住みやすさを評価

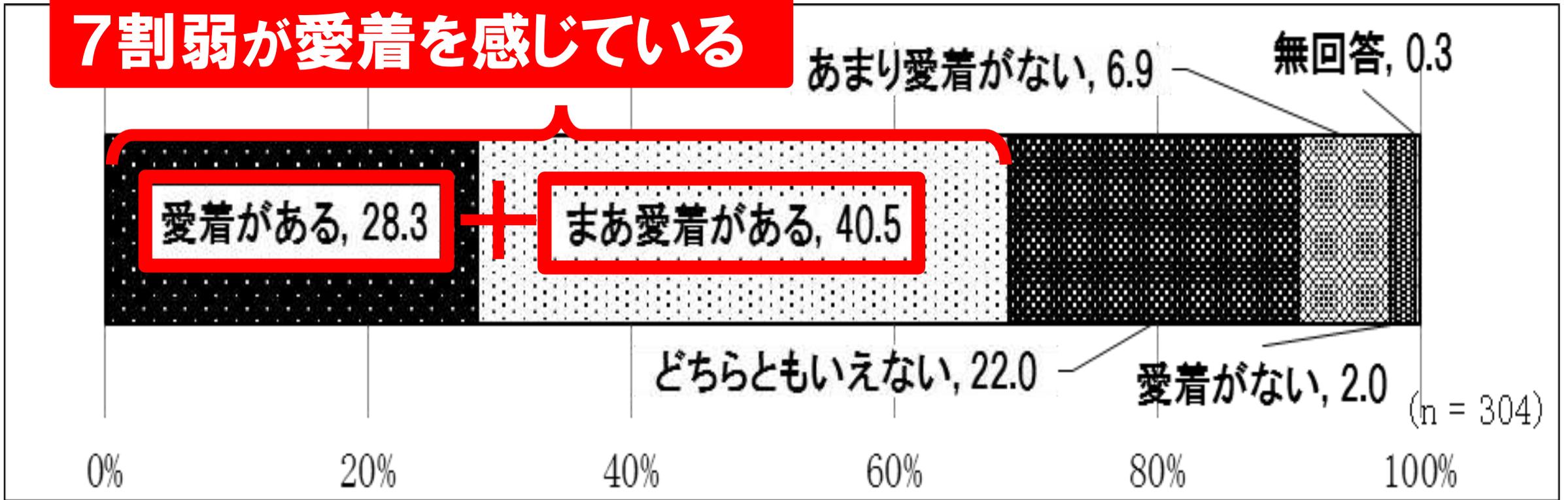


「まあ住みやすい」が5割弱と最も多く、「住みやすい」と併せ、9割弱(86.5%)が住みやすさを評価している。

1 愛着

【問3】大山口小学校区に愛着を感じていますか。(○印は1つ)

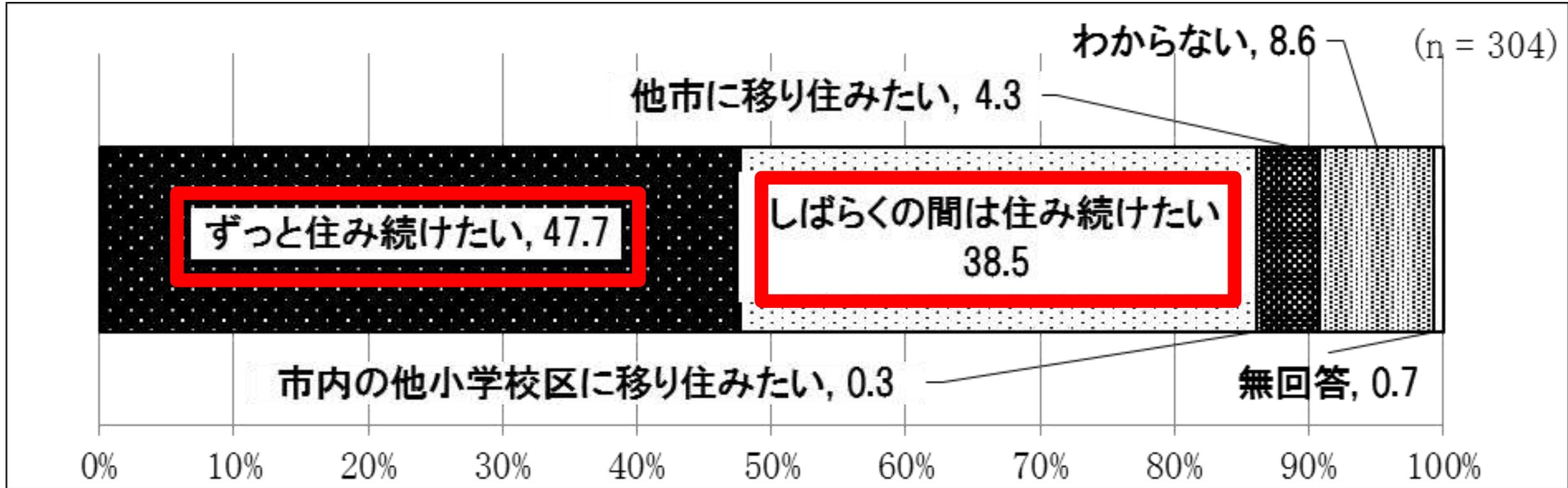
7割弱が愛着を感じている



「まあ愛着がある」が4割と最も多く、「愛着がある」と併せ、7割弱が愛着を感じている。

① 定住希望

【問4】これからも大山口小学校区に住み続けたいと思いますか。(○印は1つ)

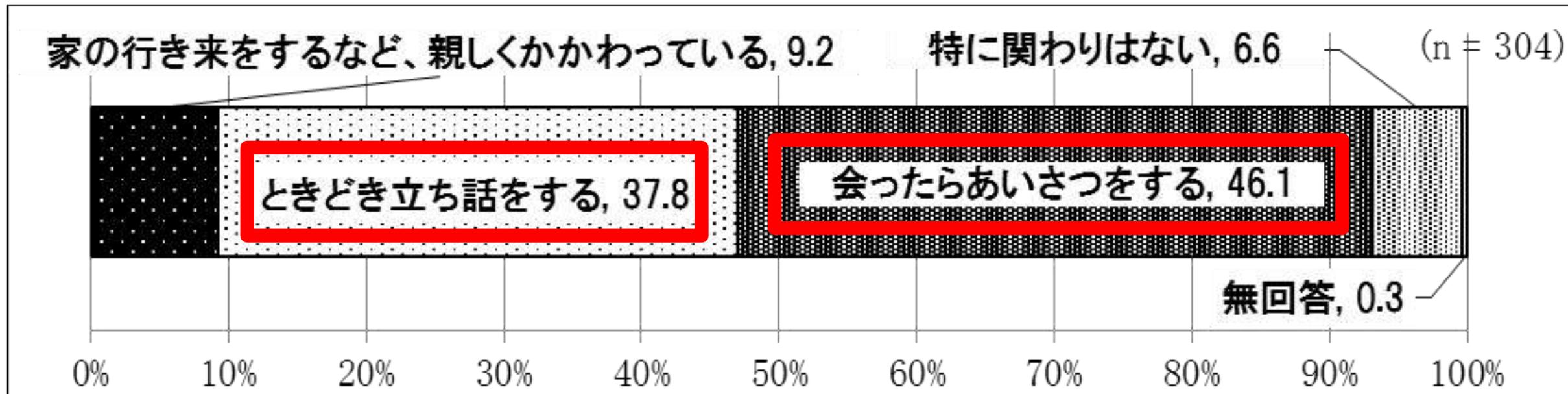


「ずっと住み続けたい」が5割弱と最も多く、「しばらくの間は住み続けたい」が4割弱と続いている。

大山口小学校区での日頃の関わりや地域活動について

②地域との関わり

【問6】ふだん地域の方と、どの程度の関わりがありますか。(〇印は1つ)



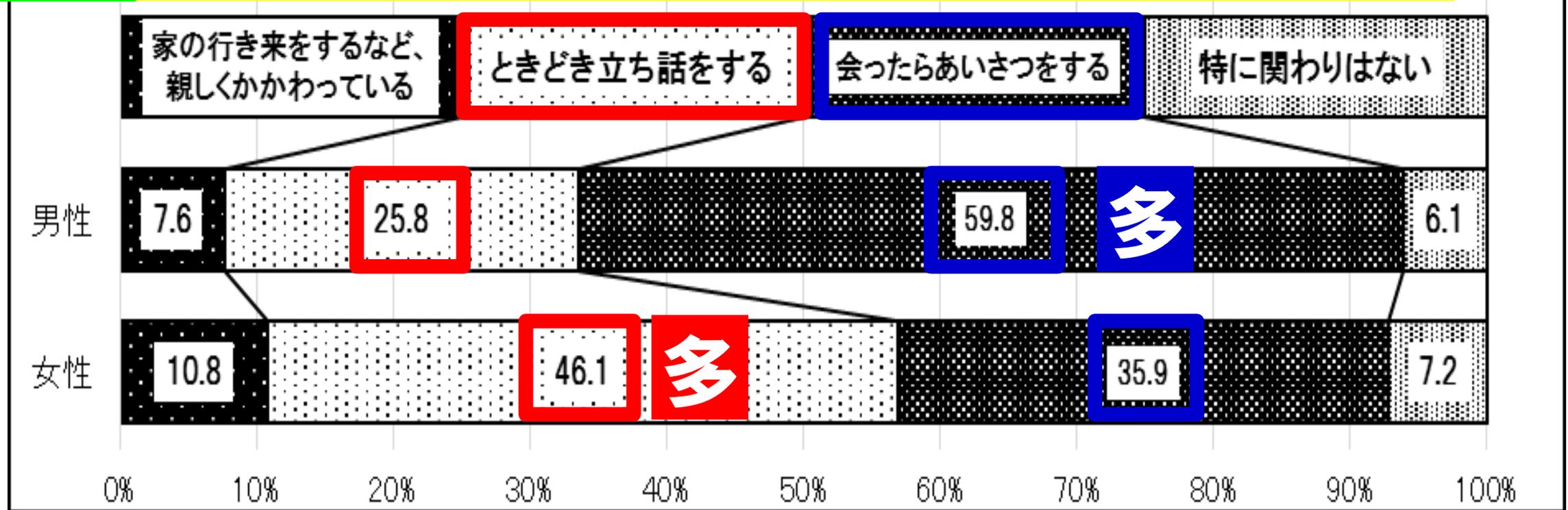
「会ったらあいさつをする」が5割弱と最も多く、「時々立ち話をする」が4割弱と続いている。

②地域との関わり

【問6】ふだん地域の方と、どの程度の関わりがありますか。(○印は1つ)

男女別

女性が男性より地域との関わりが強い傾向！



「ときどき立ち話をする」は女性に多く、「会ったらあいさつをする」は男性に多くなっている。

②地域の人々のつながり

【問7】地域の人々のつながりが薄れてきていると思いますか。(○印は1つ)

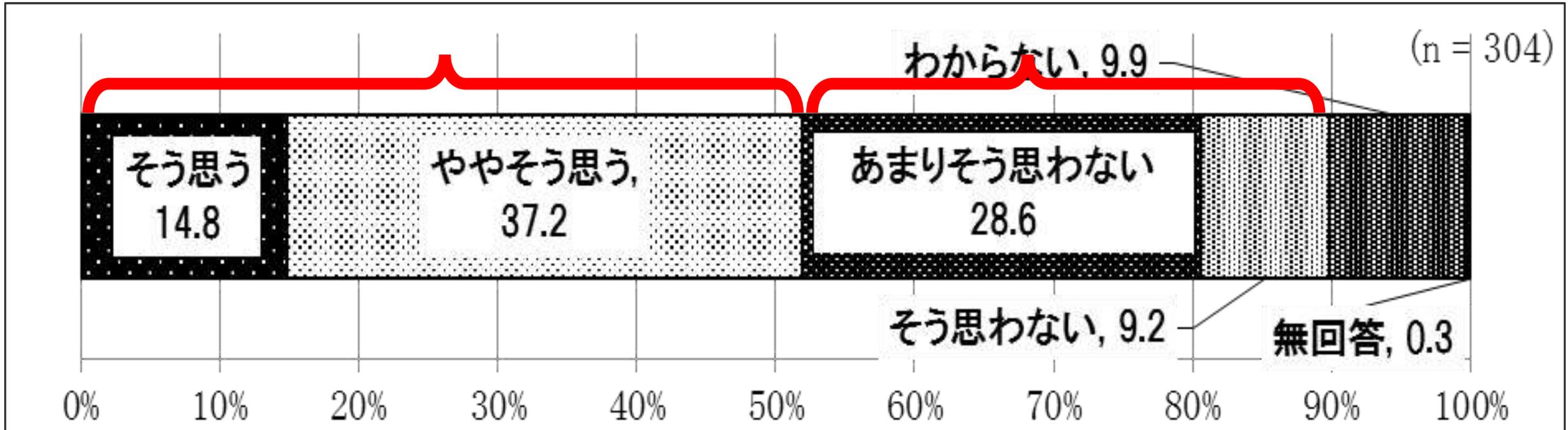
思う群

52.0%

>

37.8%

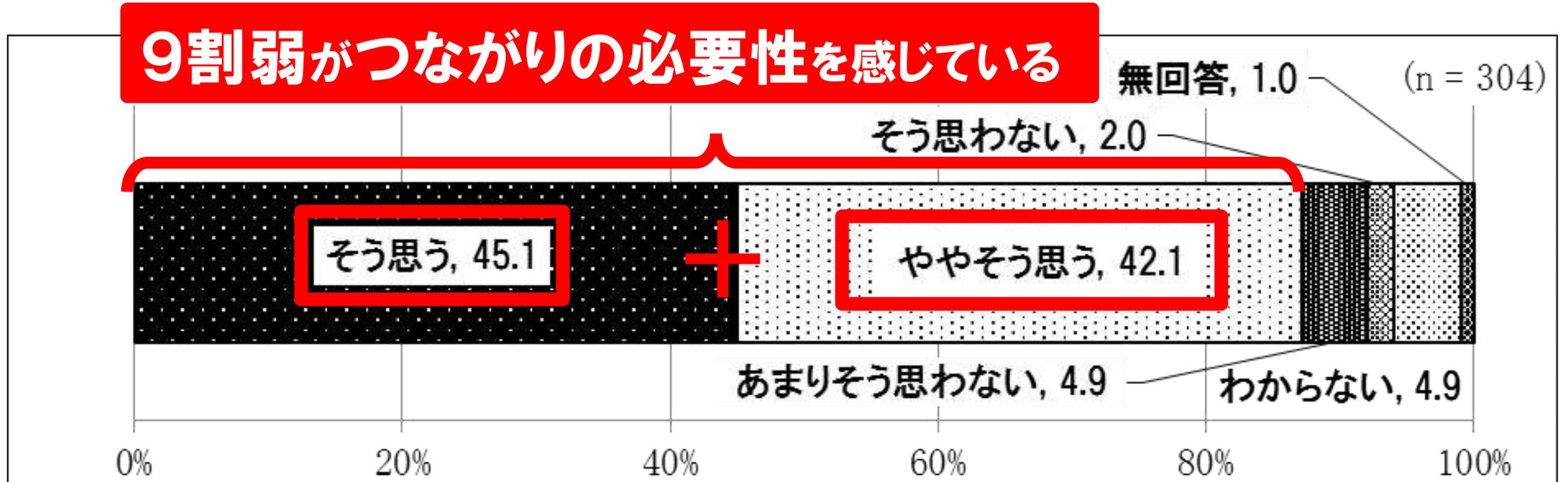
思わない群



「やや思う」が4割弱、「あまりそう思わない」が3割弱と続いている。

②地域の人々のつながりの必要性

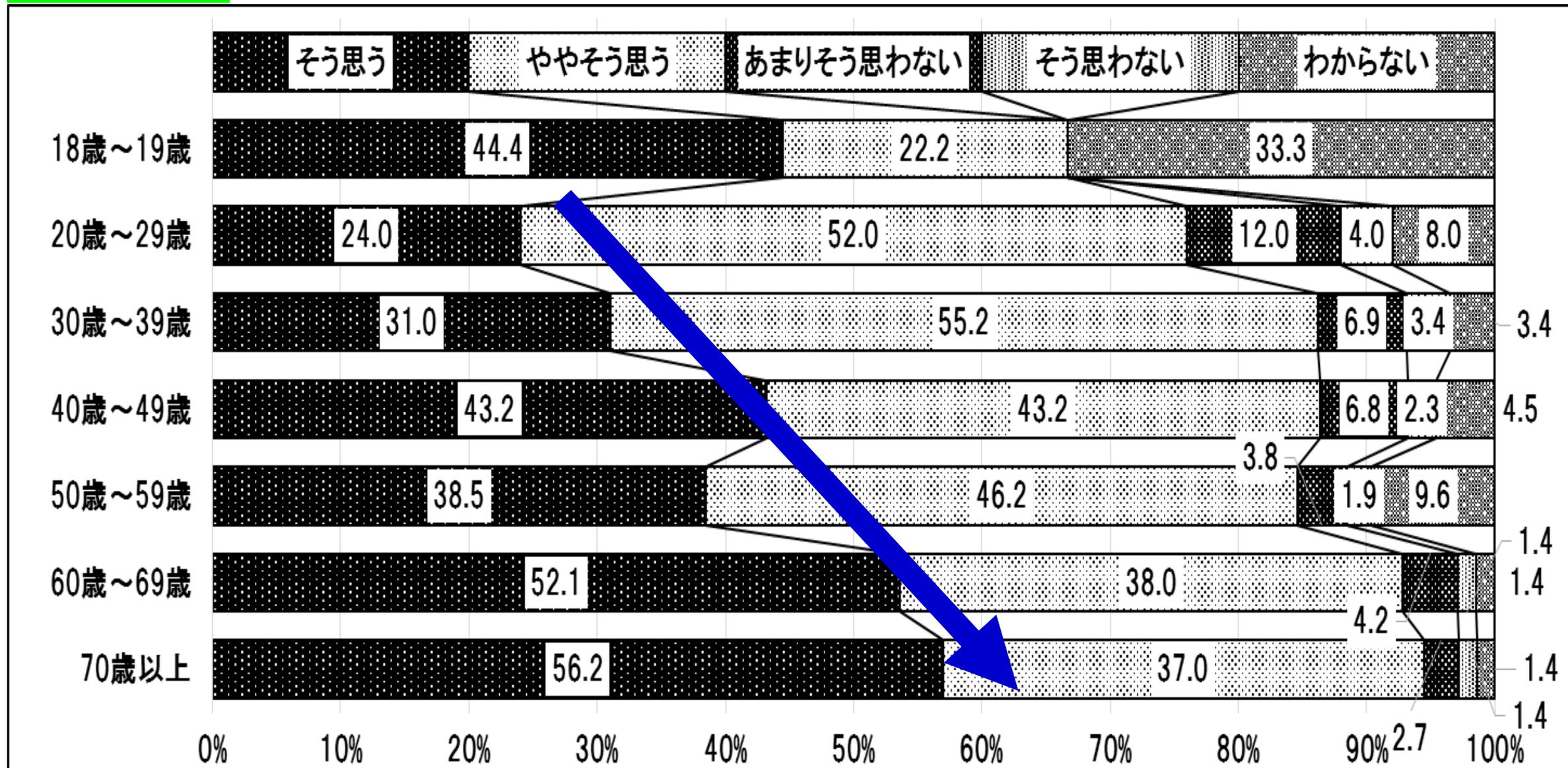
【問8】地域の人々のつながりは必要だと思いますか。(〇印は1つ)



「そう思う」(45.1%)と「ややそう思う」(42.1%)を併せ、9割弱が地域のつながりの必要性を感じている。

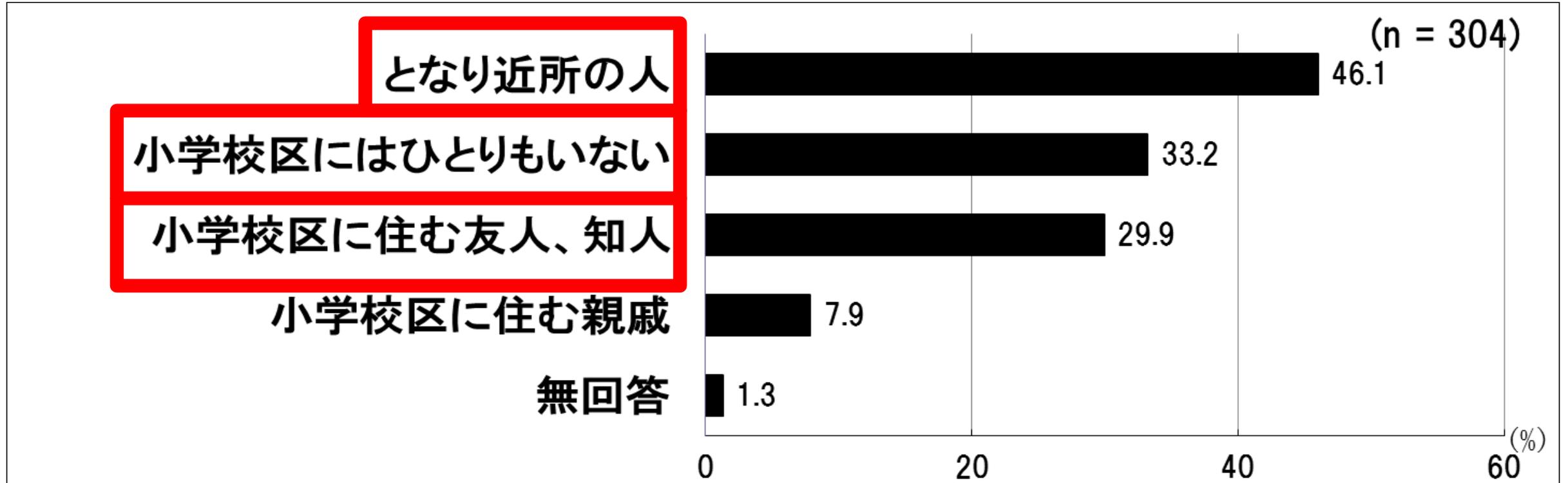
年代別

年齢が高くなるほどつながりが必要と思う人が多い傾向



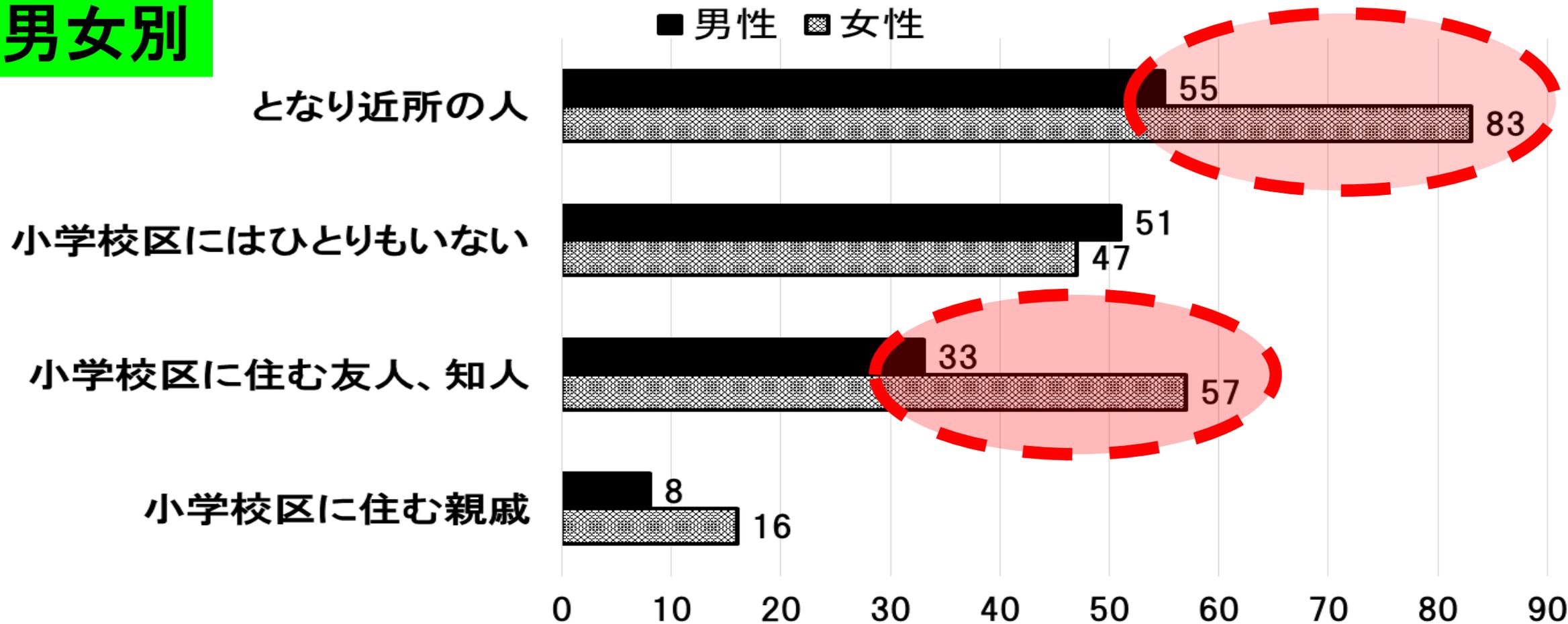
②助け合える人や信頼して相談できる人

【問9】大山口小学校区にいざというとき助け合える人や信頼して相談できる人がいますか。(○印は1つ)



「となり近所の人」(46.1%)、「小学校にはひとりもいない」(33.2%)、「小学校区に住む友人、知人」(29.9%)の順となっている。

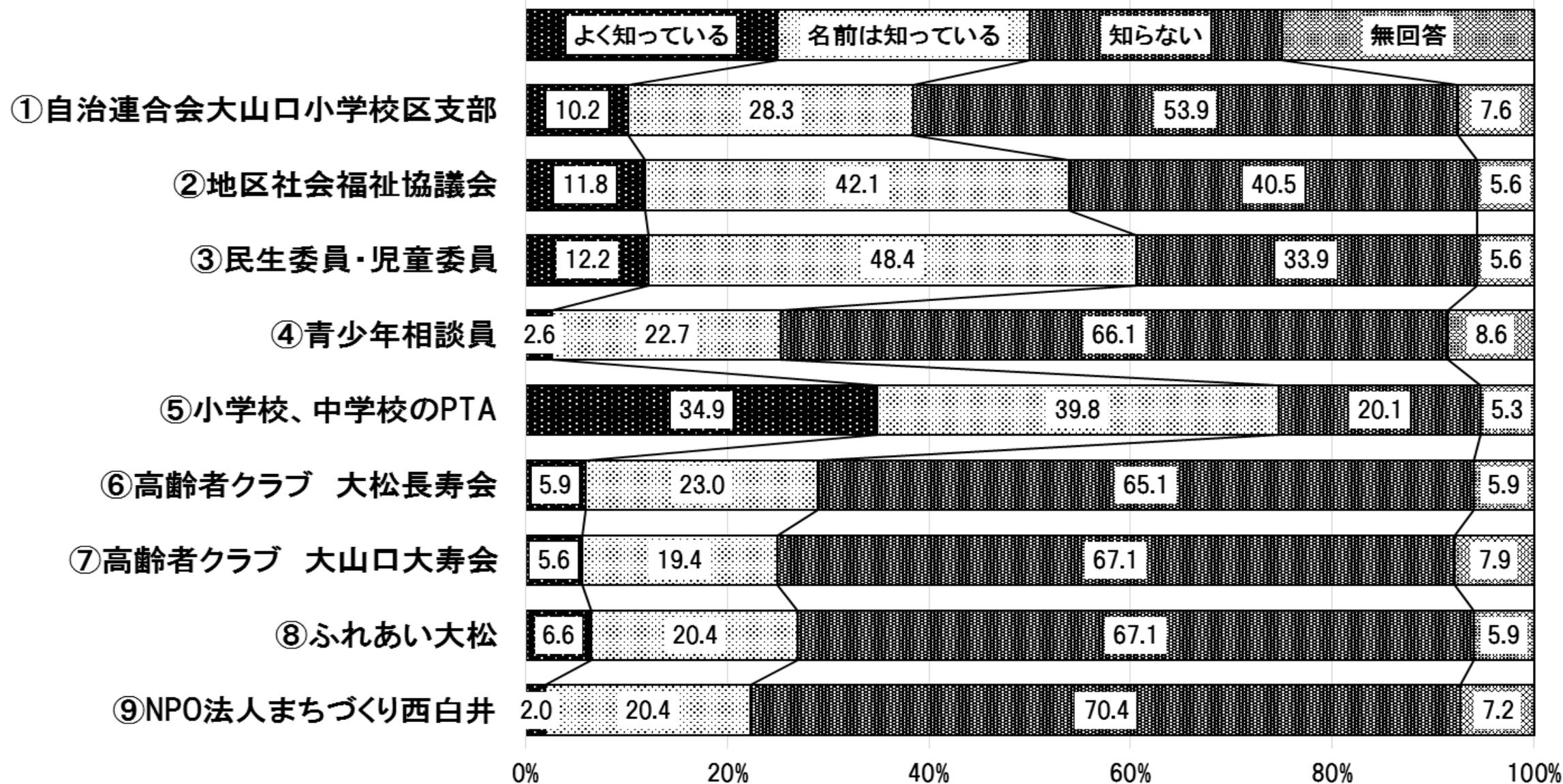
男女別



「ととなり近所の人」(男性:55%女性83%)、「小学校区に住む友人、知人」(男性33%女性57%)等、男性より女性の方が顕著に多くなっている。

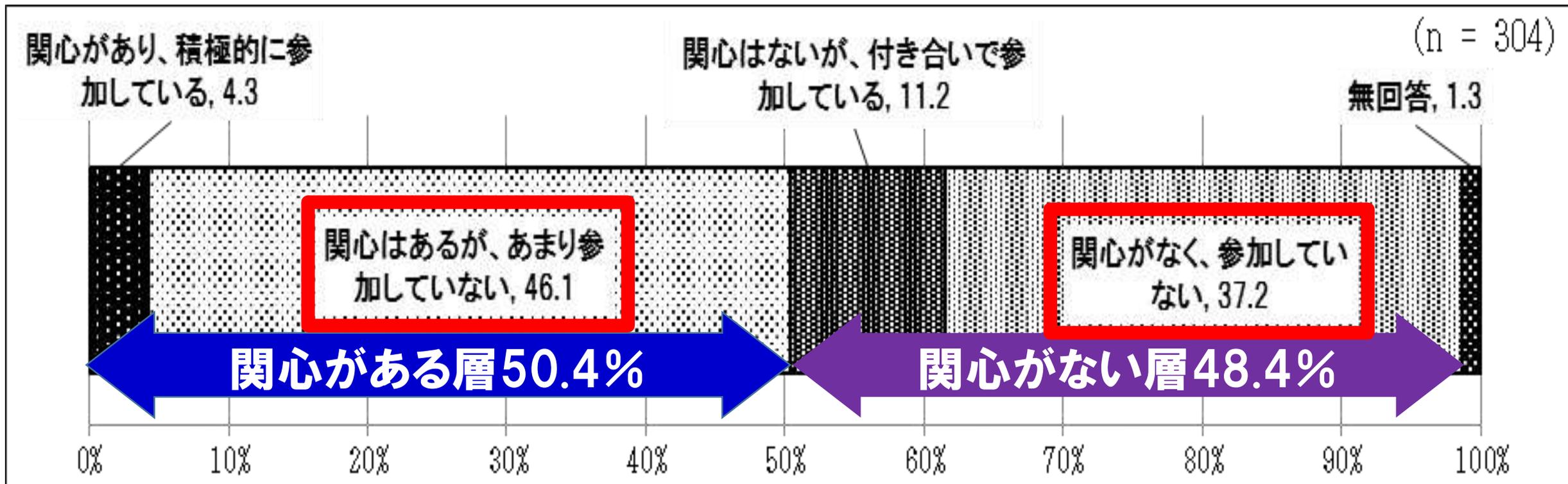
②小学校区で活動している団体の理解

【問10】大山口小学校区で活動している団体等についてご存じですか。(①～⑨までそれぞれ○印を1つずつ)



②地域活動への関心

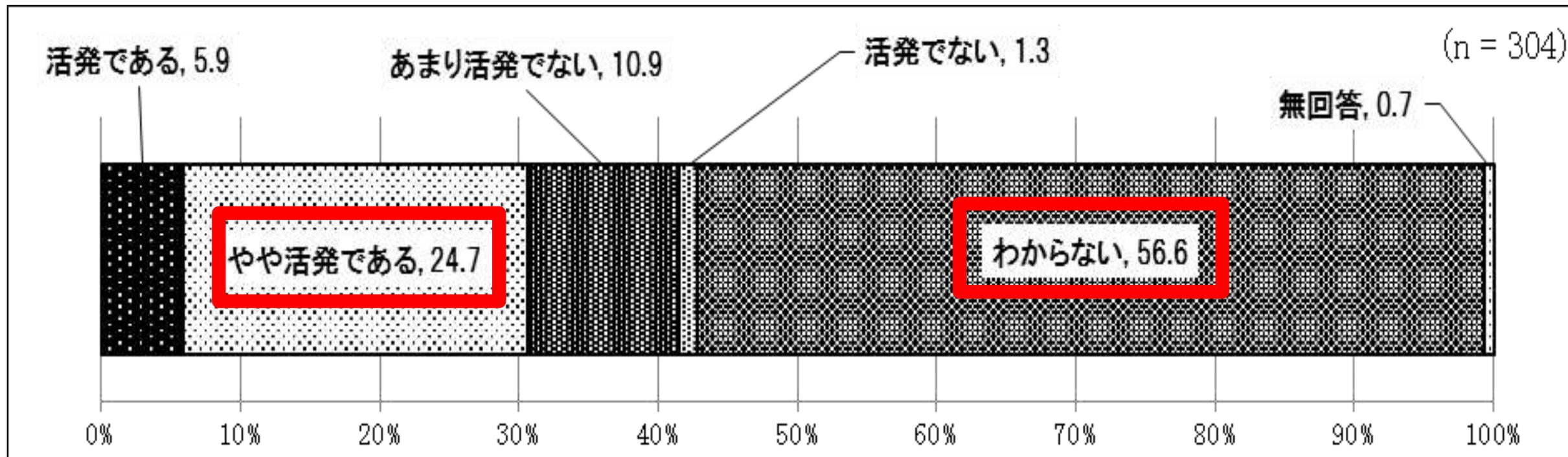
【問12】現在、大山口小学校区の地域活動に関心がありますか。(○印は1つ)



「関心はあるがあまり参加していない」(46.1%)、「関心がなく、参加していない」(37.2%)が多くなっている。

②地域活動の活発度

【問13】大山口小学校区の地域活動は活発だと思いますか。(○印は1つ)



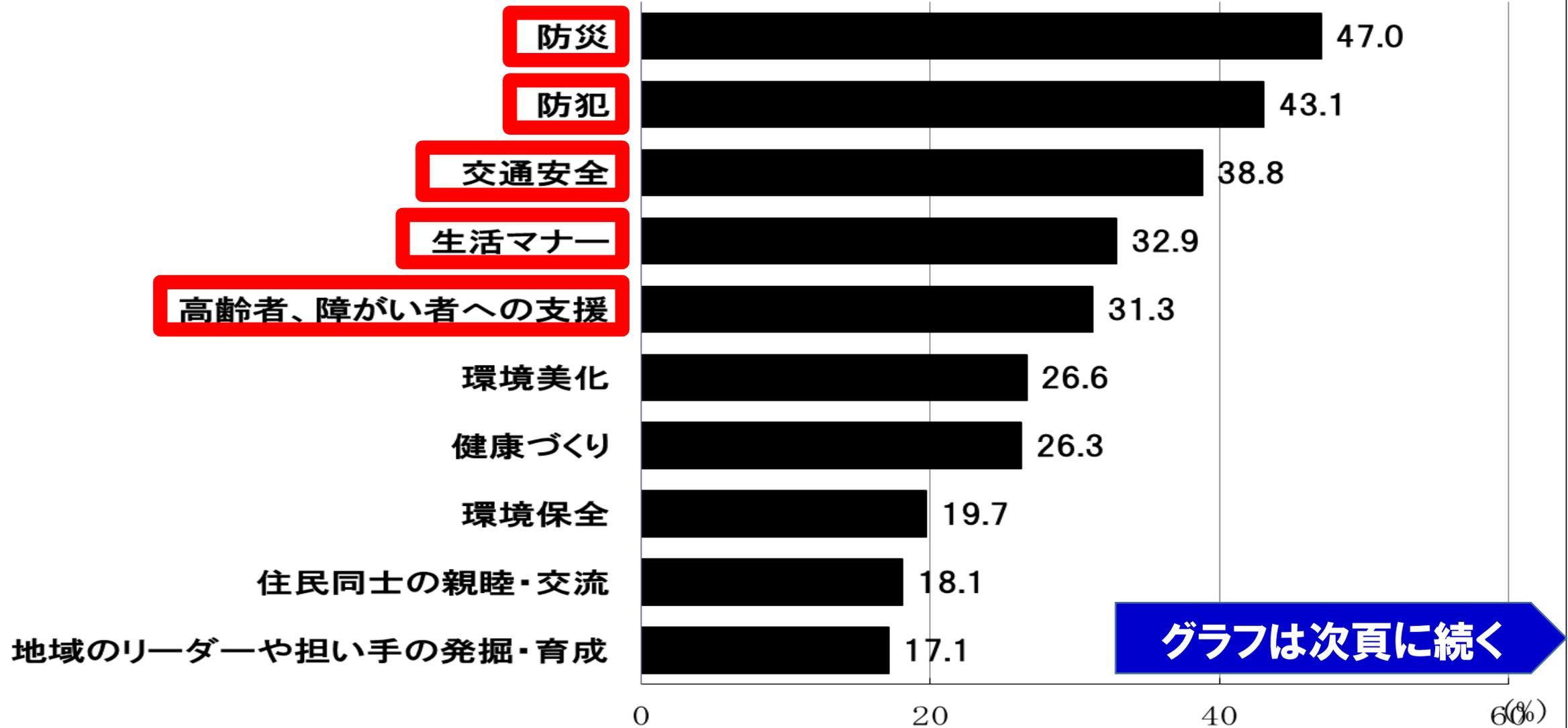
「わからない」(56.6%)と顕著に多く、「やや活発である」(24.7%)が続いている。

大山口小学校区の地域課題について

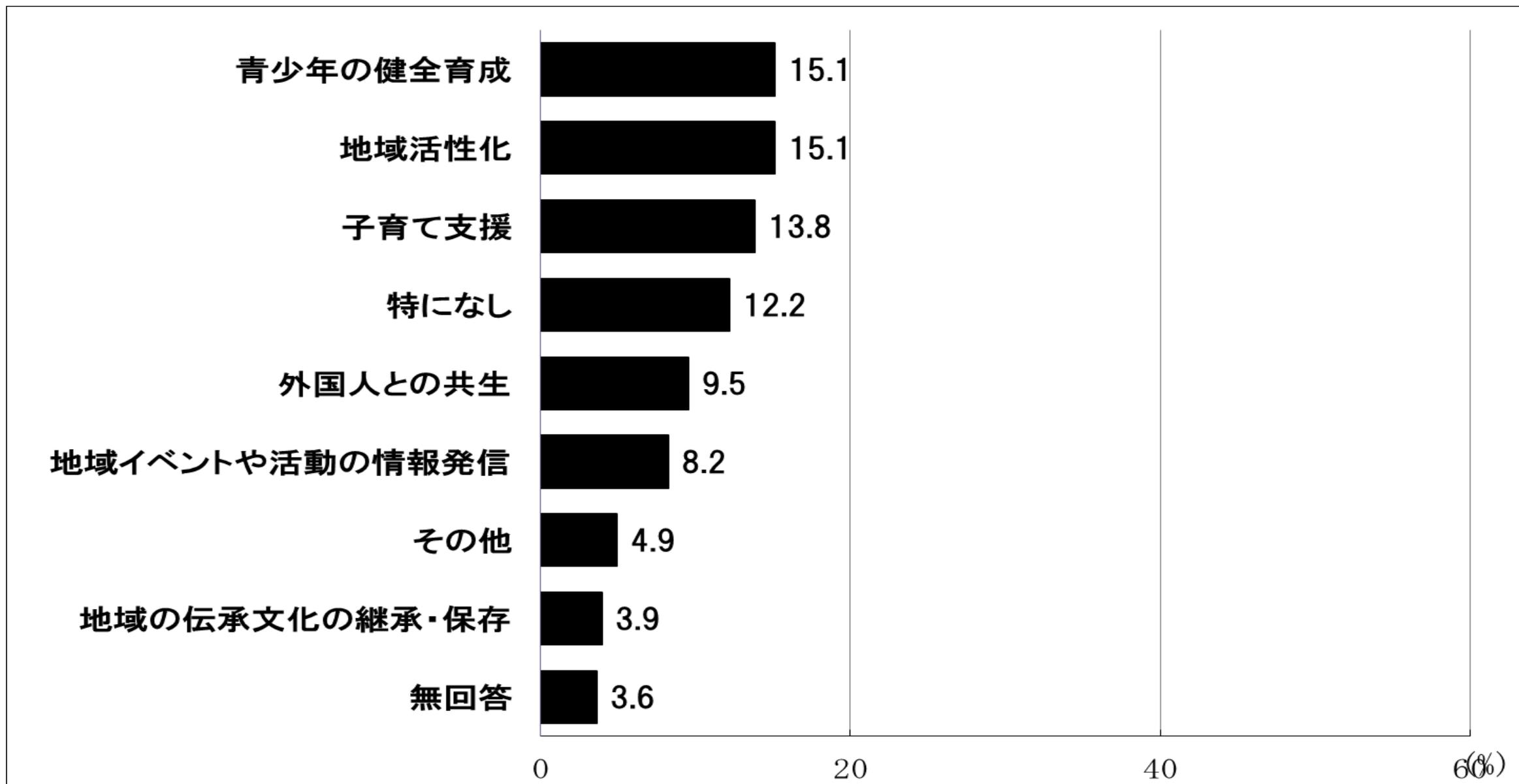
③地域課題

【問14】

大山口小学校区にお住いになり、あなたが感じている**地域課題(生活で普段気になる事、不安・心配な事・困っていることなど)**はどんなことですか。(○印はいくつでも)

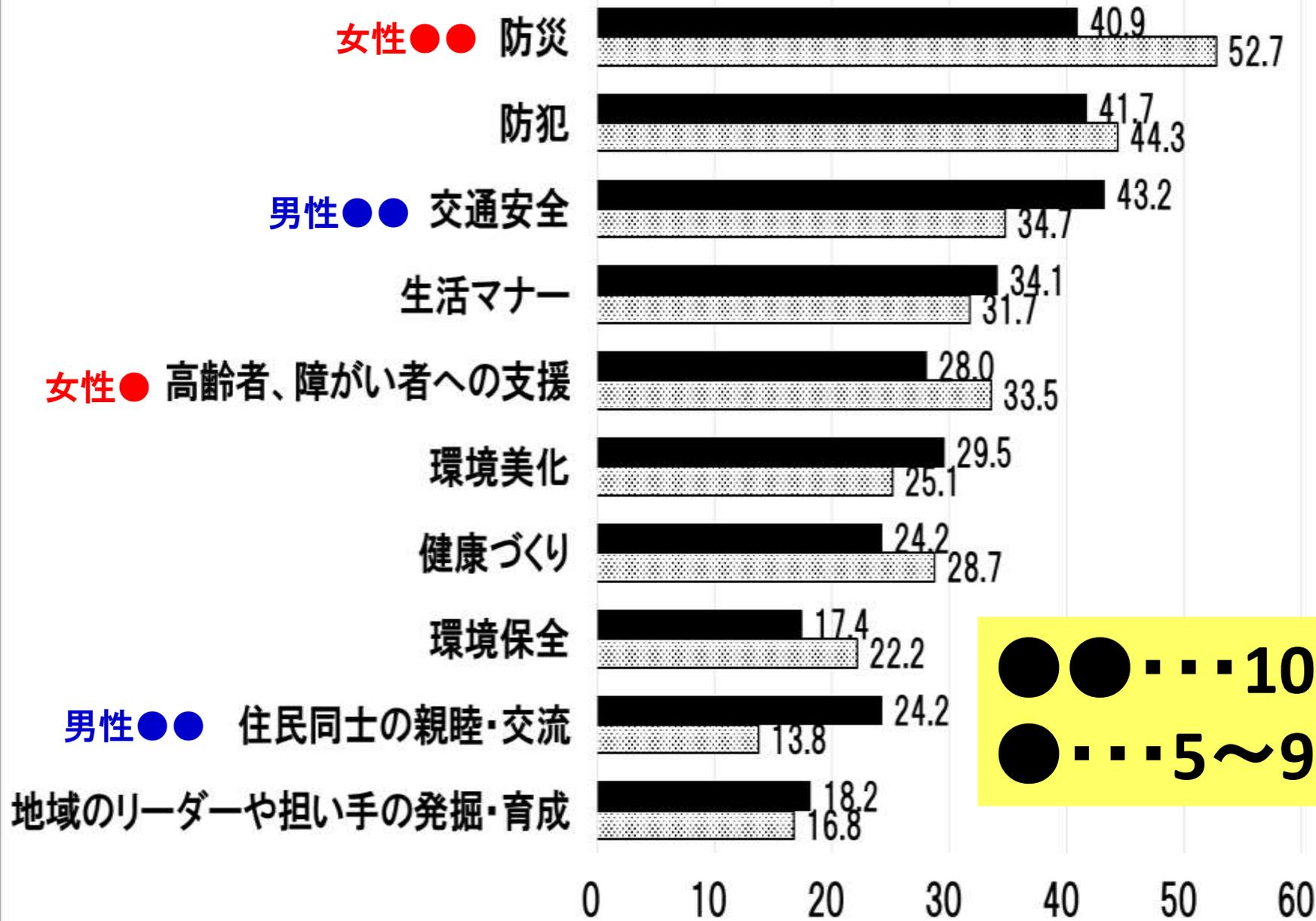


①防災、②防犯、③交通安全、④生活マナー、
⑤高齢者・障がい者への支援の順となっている。



男女別

■ 男性 □ 女性

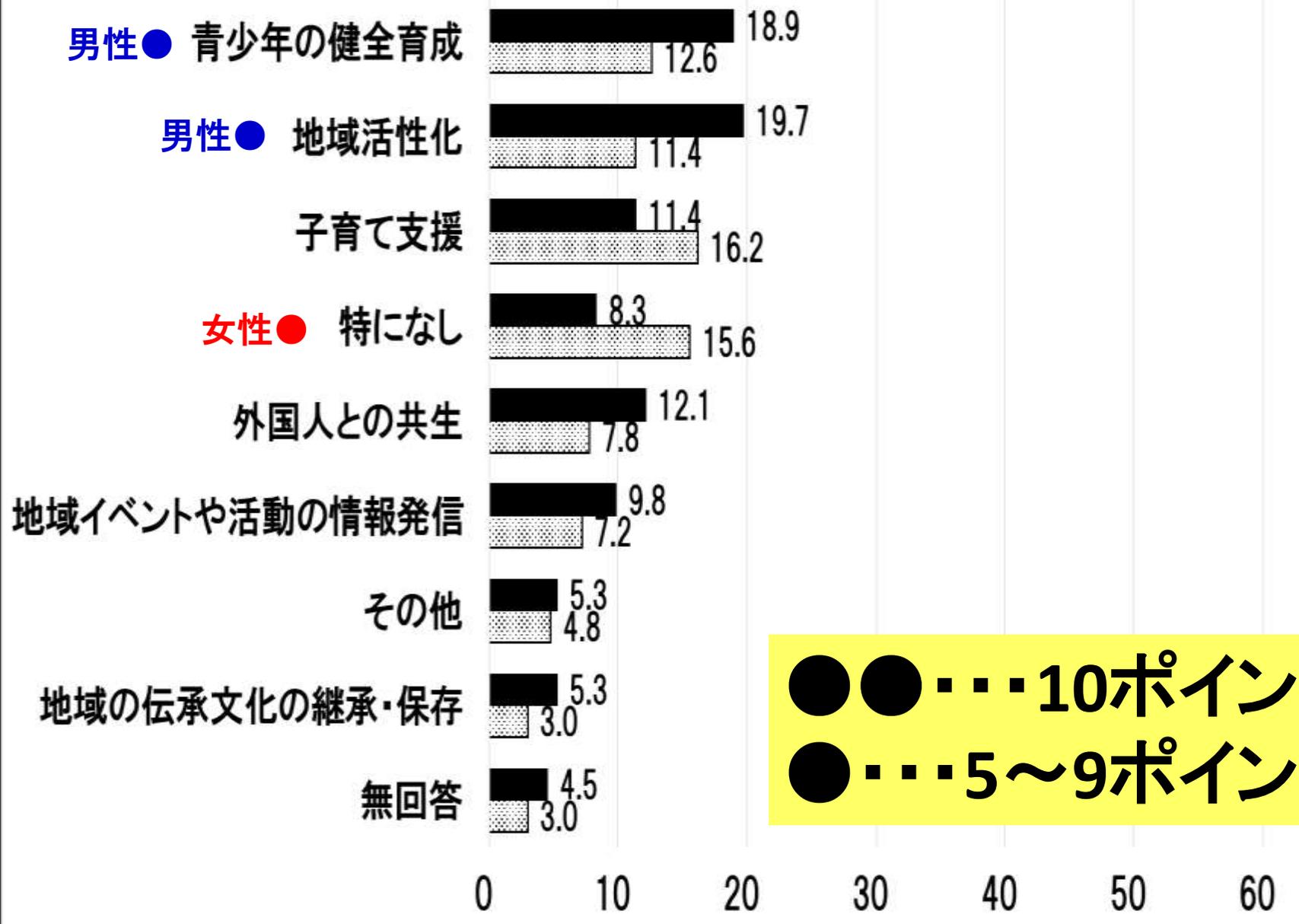


●●・・・10ポイント以上の差
●・・・5～9ポイントの差

グラフは次頁に続く

男女別

■ 男性 □ 女性



男性 ● 青少年の健全育成

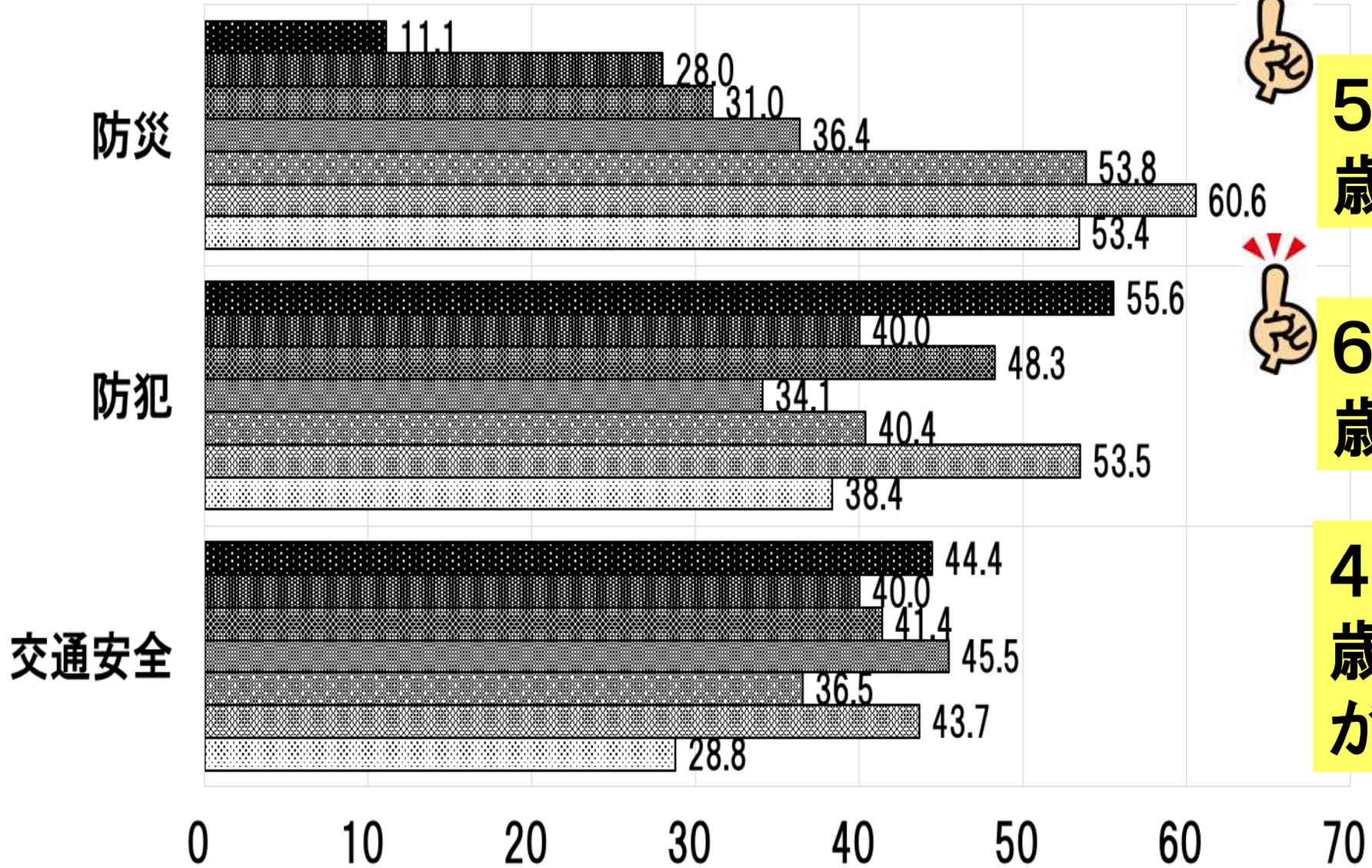
男性 ● 地域活性化

女性 ● 特になし

●●・・・10ポイント以上の差
●・・・5～9ポイントの差

年代別

■ 18歳～19歳 ■ 20歳～29歳 ■ 30歳～39歳 ■ 40歳～49歳
■ 50歳～59歳 ■ 60歳～69歳 ■ 70歳以上



50歳代～70歳以上が多い



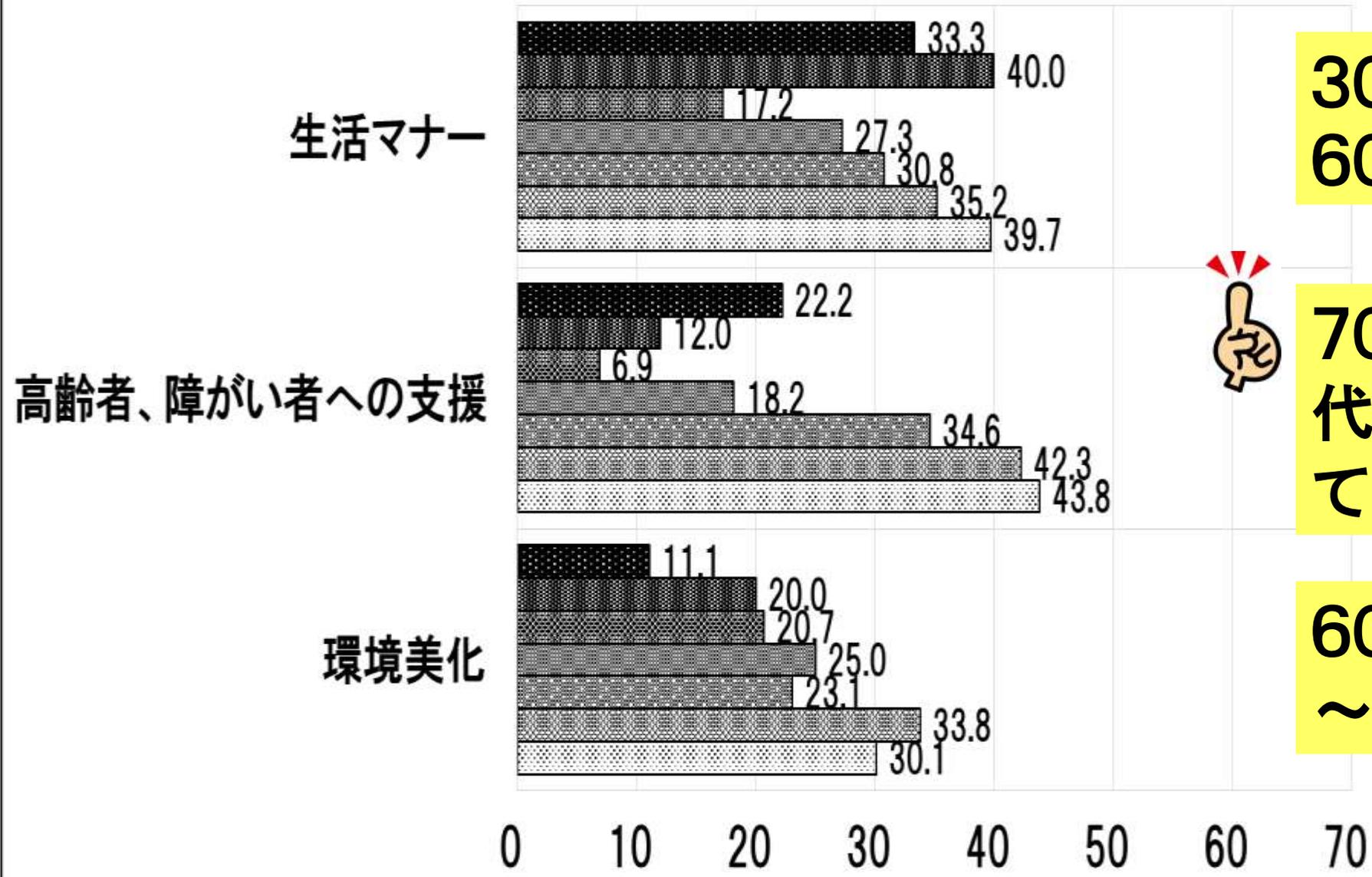
60歳代、30歳代が多い

40歳代、60歳代、30歳代が多い

グラフは次頁に続く

年代別

- 18歳～19歳
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳以上



30歳代、70歳～、60歳代が多い



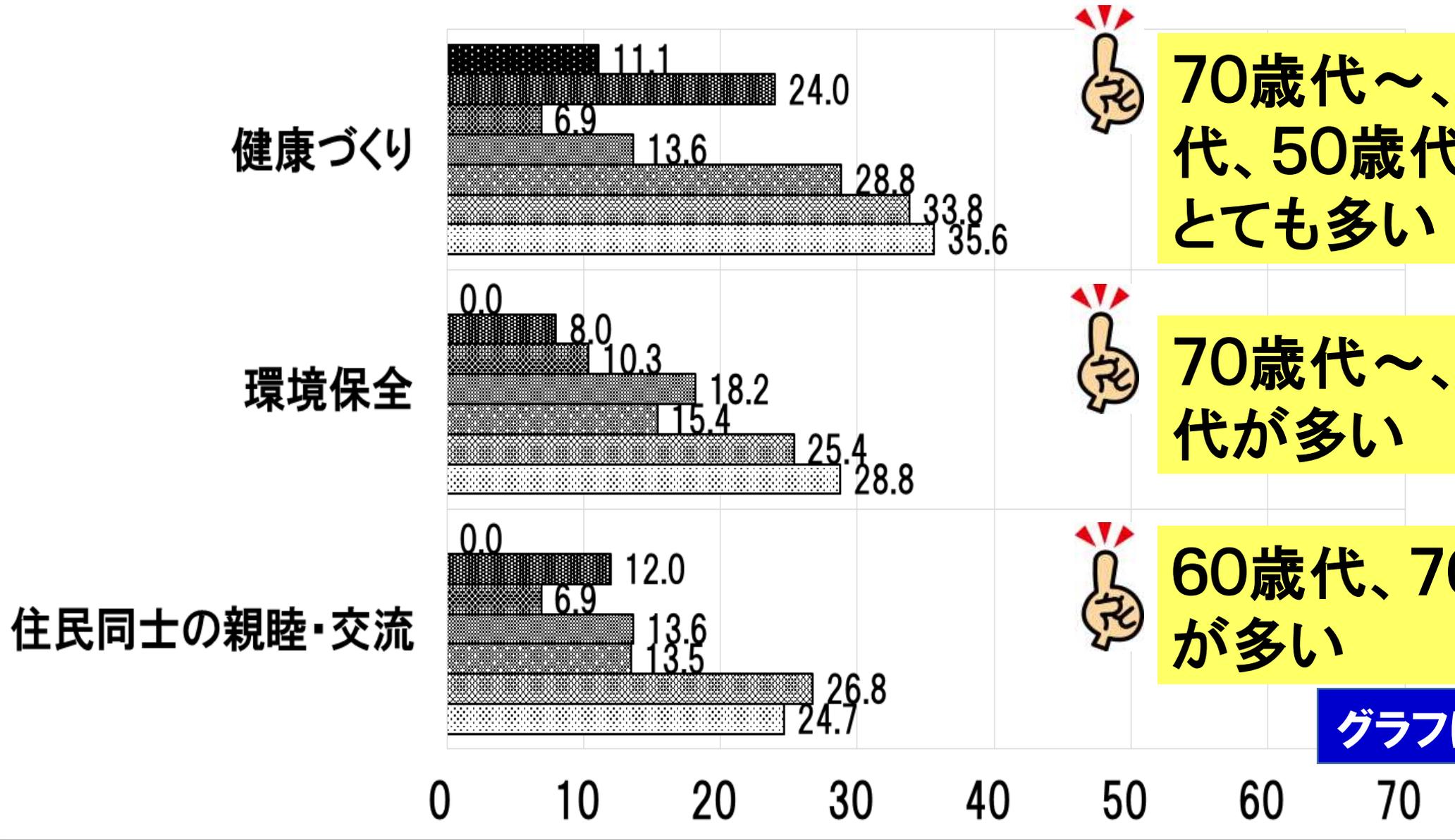
70歳代～、60歳代、50歳代がとても多い

60歳代、70歳代～が多い

グラフは次頁に続く

年代別

■ 18歳～19歳 ■ 20歳～29歳 ■ 30歳～39歳 ■ 40歳～49歳
■ 50歳～59歳 ■ 60歳～69歳 ■ 70歳以上



70歳代～、60歳代、50歳代～がとても多い



70歳代～、60歳代が多い



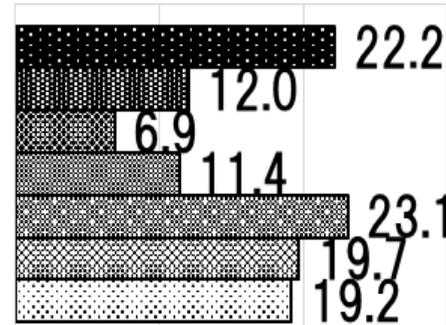
60歳代、70歳代が多い

グラフは次頁に続く

年代別

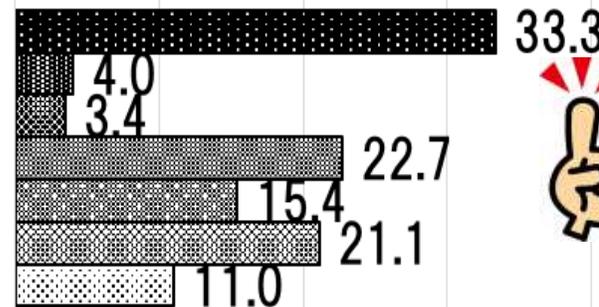
- 18歳～19歳
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳以上

地域のリーダーや担い手の発掘・育成



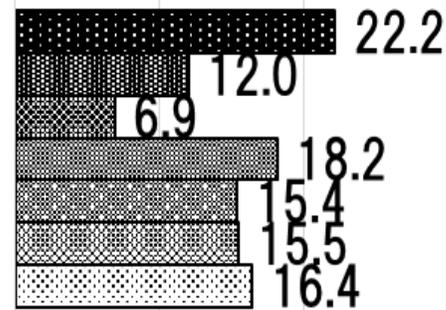
50歳代～、60歳代、70歳代～が多い

青少年の健全育成



40歳代、60歳代が多い

地域活性化



40歳代、70歳代～、60歳代、50歳代が多い

グラフは次頁に続く

0 10 20 30 40 50 60 70

年代別

■ 18歳～19歳 ■ 20歳～29歳 ■ 30歳～39歳 ■ 40歳～49歳
■ 50歳～59歳 ■ 60歳～69歳 ■ 70歳以上

子育て支援



30歳代、60歳代が多い

特になし



20歳代、50歳代が多い

外国人との共生



20歳代が多い

0 10 20 30 40 50 60 70

年代別

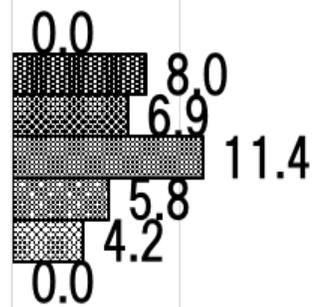
- 18歳～19歳
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳以上

地域イベントや活動の情報発信

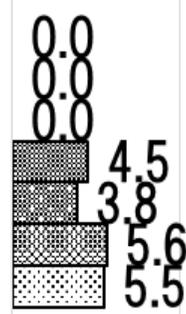


30歳代が多い

その他



地域の伝承文化の継承・保存



0 10 20 30 40 50 60 70

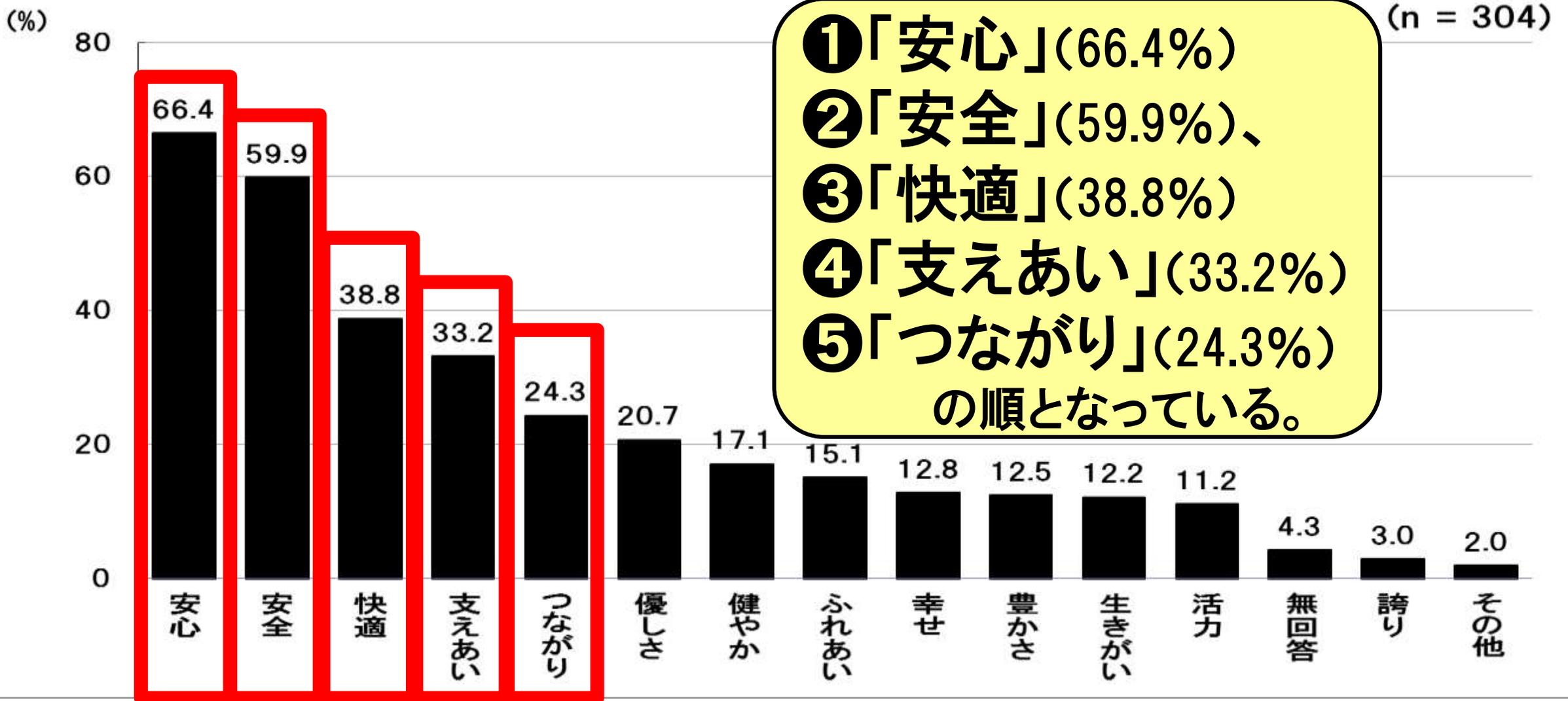
③特に重要な地域課題

問14で○をつけたなかで、特に重要な地域課題（生活で普段気になる事、不安・心配な事・困っている事など）はどんなことですか。重要と思う順番に番号をお書きください。

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
1番目に重要	防災 (19.7%)	防犯 (17.8%)	交通安全 (6.9%)	高齢者、障がい者への支援 (6.3%)	生活マナー (4.3%)
2番目に重要	交通安全 (10.2%)	防犯 (9.5%)	防災 (9.2%)	高齢者、障がい者への支援 (6.9%)	生活マナー (5.3%)
3番目に重要	生活マナー (6.9%)	交通安全 (6.6%)	健康づくり (5.9%)	環境美化 (5.3%)	高齢者、障がい者への支援、地域のリーダーや担い手の発掘・育成 (4.6%)

④まちづくりの将来像の言葉(キーワード)

【問23】今後、大山口小学校区が目指すまちづくりの将来像を表すものとして、どのような言葉(キーワード)がふさわしいと思いますか。(〇印はいくつでも)



まとめ

● **暮らし**・・・住みやすさ、愛着、定住希望がそれぞれ高い傾向。

● **日頃の関わり**

・・・男性より女性が豊富な関わりがあり、知り合いも多い。

・・・人とのつながりが薄れているがやや多く、つながりの必要性をほとんどの人が感じている。(年齢が高い人ほど)

● **団体の理解**

・・・「よく知っている」はPTAを除き1割程度。「名前は知っている」は、地区社協、民生委員・児童委員が高い。

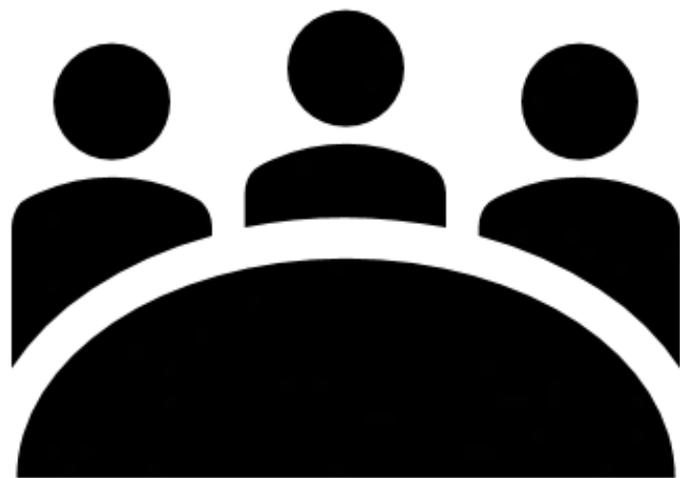
● **地域活動への関心度・活発度**

・・・関心があるとないが半分ずつで、活発度はわからないが半数以上。

● **地域課題**

・・・防災、防犯、交通安全、生活マナー、高齢者、障がい者への支援

2 ワークショップ



本日のテーマ

大山口小学校区の

魅力と地域課題

スケジュール

①ワークショップ説明

テーマ・進め方・付箋の使い方

②ワークショップ実施

③グループ発表・共有

1グループ3分以内

出された意見の概要・中心となった話題を紹介



大山口
小学校区



①魅力

②地域課題

- ◎良い点
- ◎好き・自慢できる点

- ◎生活で気になる事
- ◎不安・心配な事
- ◎困っている事

ワークショップの進め方

職員が進行(ファシリテーター)を担当

1 順番に**名前**と**住んでいる地区**を紹介し、**発表者**を決める



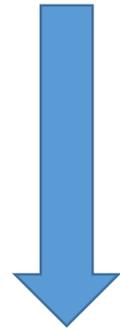
2 個人ワーク(一人で考え意見を記入) 5分



魅力を**ピンク**の付箋に
地域課題を**イエロー**の付箋に

ワークショップの進め方

- ③ 一番感じる「魅力」・「地域課題」をそれぞれ1つずつ
選び、マジックで下線を引く (例)



ボランティア
活動が
盛ん

外で遊ぶ
子どもが
少ない

- ④ グループ内で読み上げ発表し、模造紙に貼る(グループ巡)
- ⑤ 残りの「魅力」・「地域課題」を読み上げ発表し、模造紙に貼る(グループ巡)
- ⑥ グループ内で意見交換を継続

付箋の使い方(意見の書き方)

- ふせん1枚に「1つの意見」
- マジックではっきり大きく簡潔な文章

上

のり

のりがついている面は
裏面です。

下

①魅力

ピンクの付箋に記入

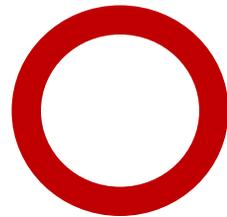


◎良い点

◎好き・自慢できる点



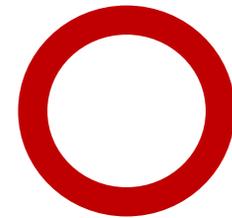
スーパー



スーパーが
多く買い物
が便利



ボランティア



ボランティ
ア活動が
盛ん

②地域課題

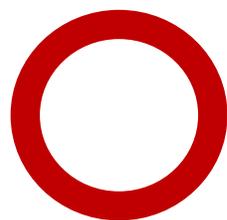
イエローの付箋に記入



- ◎生活で気になる事
- ◎不安・心配な事
- ◎困っている事



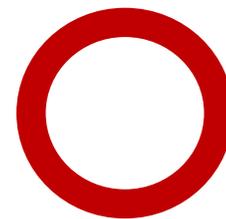
独居高齢者



独居高齢者が増えている



子どもの遊び



外で遊ぶ子どもが少ない

○グループ メンバーの 名前	1 健康福祉	2 環境(美化・ 緑化・保全)	3 防犯・防災・ 交通安全	4 子育て・子 どもの育成	5 地域の交 流・活性化	6 地域環境	7 その他
<p>魅力</p> <p>良い 自慢 好き</p>					<p>ボランティ ア活動が 盛ん</p>	<p>スーパーが 多く買い物 が便利</p>	
<p>地域 課題</p> <p>心配 不安 困りごと 気になる</p>	<p>独居高齢 者が増え ている</p>			<p>外で遊ぶ 子どもが 少ない</p>			

ワークショップの基本ルール

一人ひとりが感じたことや考えを自由に出し合う場であり、何かを決定したり、意見の優劣をつける場ではありません。

(1) 一人ひとりが発言できる機会をつくりましょう

- ・参加者全員で発言機会を提供し合い一人が長く話しすぎない。(1分以内に簡潔に)

(2) 気持ちよく参加できる場をつくりましょう

- ・お互いの考えの違いや多様な意見を受け止め、相手を否定、批判せず、一人ひとりの想いを大切にしましょう。
- ・気楽に楽しみながら参加しましょう。

(3) 脇道にそれないようみんなで気をつけましょう

- ・限られた時間を有効に使うため、テーマ以外の話題は別の機会に。



地域課題の解決策(取り組み)は、次回のトークで話し合いますので、今回のテーマではありません。

CHECK!



情報発信

① 11月に第2号発行

11月に自治会回覧を実施

[設置場所]

複合センター・西白井コミュニティプラザ

② フェイスブック

③ 市のHP(準備中)

④ 広報しろい11月1日号

第1面に掲載

白井市 大山口小学校区

みんなでまちづくり通信 創刊号

発行:令和元年9月
大山口小学校区まちづくり協議会 設立準備会

大山口小学校区にお住まいの皆さま、こんにちは！
まちづくり協議会 設立準備会です。

■大山口小学校区で『小学校区単位のまちづくり』に向けた『まちづくり協議会設立準備会』が設立しました！

大山口小学校区と白井第三小学校区がモデル小学校区に選ばれ、これまで地域の各団体の方たちが何度も話し合いを行い、8月25日(日)に各団体と公募委員の計19名による大山口小学校区まちづくり協議会設立準備会が設立しました。



準備会メンバー発表の様子
(6月23日 みんなでまちづくりセミナーにて)



会議の様子
(7月6日 市役所東庁舎会議室101にて)

◆小学校区単位のまちづくりって？

・生活に身近で互いの顔が見える小学校区で、地域の団体など、私たち市民が主役となり、互いに協力・連携し、地域課題の解決や魅力づくりに取り組んでいくまちづくりです。

◆なぜ小学校区単位のまちづくりが大切なのか？

・大災害に備えた防災、安心・安全を守る防犯、子育てや福祉などの地域の支え、地域ぐるみのコミュニティづくり、健康づくり、青少年の育成などの地域の課題を今こそ地域が一丸となって解決していく必要があります。そのため、設立準備会は第5次総合計画の重点戦略事業と位置づけている市と連携をとり、まちづくり協議会の設立を進めていきます。

f Facebookページ作りしました！

『白井市大山口小学校区 まちづくり協議会設立準備会』
<https://www.facebook.com/ohyamaguchi.machikyo/>

準備会広報からのお知らせや地域ニュースを発信します。
『いいね!』で地域を盛り上げていきましょう♪



CHECK!



これからの予定

① 第2回 みんなでまちづくりトーク

来年1月に開催！

私たち市民による地域の課題解決策(活動・取り組み)
について一緒に考えましょう！

② まちづくりの将来像を意見公募

③ 設立準備会は公開で開催(傍聴人数制限有)

詳細はまちづくり通信・フェイスブックにて